

令和4年度 神奈川県立三ツ境養護学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立三ツ境養護学校 第3回学校運営協議会		
開催日時	令和5年2月21日(火) 10:00~11:35		
開催場所	神奈川県立三ツ境養護学校 会議室		
出席者	運営協議会委員8名(1名欠席、本校校長を含む) 事務局教職員12名(管理職、事務長、総括教諭、教諭等)		
次回開催予定日	令和4年度は今回で終了		
問い合わせ先	教頭 松本 寛真 電話 045-365-3711		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	
○ 会議経過	<p>1 開会</p> <p>(1) 学校長あいさつ</p> <p>(2) 会長挨拶</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 令和4年度学校評価報告書、学校評価アンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画新書式作成に取組み、次年度から改訂。分かりやすく簡素化した。 ・オンライン交流・授業での活用等を行い、回数も増えた。 ・センター的機能の推進に向け、次年度は新たな組織を立ち上げる。 ・災害時の模擬引取り訓練を行った。次年度は発災後の訓練等を検討している。 ・Sスケールを肢体不自由教育部門の児童、生徒に導入した。スコアと呼ばれる、発達段階の月齢が分かるものを目安に、取組むことを焦点化する。 ・視線入力装置の取組み。対象を目で追うことから選択することへの変化が見られた。 <p>(2) 各学部の取組と成果について</p> <p>① 小中学部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・系統性のある教育課程を目指し、「図工、美術」、「朝の会」の内容整理。Sスケールの導入。評価の軸ができた。 <p>② 高A(肢体不自由教育部門 高等部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分身ロボット OriHime(オリヒメ)を使用したオンライン授業に取組んだ。学校に来ることが難しい生徒も一緒に授業を受け、学部の友達と交流することができた。 <p>③ 高B(知的障害教育部門 高等部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科指導計画表の見直しを行い、授業や年間指導計画立案の方法について検討した。また、地域の学校での清掃活動の再開等を行い、コロナ禍前の活動が戻ってきた。 <p>④ 瀬谷西分教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTと協力し姿勢改善の取組を行った。ICT機器を使用することで生徒自身が視覚的に課題を捉えることができた。 ・分教室移転に伴い、生徒、保護者に混乱が無いように、校外学習の目的地や学校説明会を横浜緑園高等学校で行った。 <p>(3) 切れ目ない支援部会の取組報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間報告以降に行った取組について。高等部生徒と旭高校生徒との交流は、回を重ねるごとに参加者が増えていった。 ・交流先の学校と目的の共有がうまくいかず、交流がかなわなかったことがあった。次年度はそういったことがないように、より丁寧に連絡を行いたい。 <p>3 事務連絡 閉会</p>		
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 第3回学校運営協議会 開催要項 ・令和4年度 学校運営協議会 委員名簿 ・令和4年度 三ツ境養護学校 学校目標 ・令和4年度 年度末評価 ・令和4年度 三ツ境養護学校 年間評価 ・学校評価アンケート集計 ・パワーポイント資料(各学部の取組) ・パワーポイント資料(切れ目ない支援部会取組) 		